

大学番号：国073

注3

# 事前伺い

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学府）  
の専攻に係る課程の変更

注1

九州大学大学院地球社会統合科学府  
地球社会統合科学専攻（博士後期課程）

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学  
平成28年5月1日現在

### 作成担当者

#### 総務部法令審議室

ホウキガカリ サトウ タイサク  
法規係 佐藤 太作

電話番号 092-802-2143  
(夜間) 092-802-2143  
F A X 092-802-2139  
e-mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

#### 地球社会統合科学府等事務部

シヨムガカリ タカマツ ヨウタロウ  
庶務係 高松 陽太郎

電話番号 092-802-5762  
(夜間) 092-802-5762  
F A X 092-802-5791  
e-mail hbssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

# 目次

地球社会統合科学府

<地球社会統合科学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 九州大学

## (2) 大学名

九州大学

## (3) 大学の位置

〒819-0395  
福岡県福岡市西区元岡744番地  
(〒812-8582  
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻  博士(学術) 博士(理学)	3年	35人	105人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成26年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	35人 ( ) [ ]	35人 ( ) [ ]	35人 ( ) [ ]	35人 ( ) [ ]	35人 ( ) [ ]	35人 ( ) [ ]	1.00倍 1.07倍 1.14倍 本学府は10月入学を実施して おり、平成28年度は既に2 名の入学を認めている。さら に10月入学者の選抜試験を7 月に実施する。	
志願者数	44 (7) [19]	7 (-) [4]	35 (2) [14]	6 (1) [5]	32 (2) [19]			
受験者数	43 (7) [19]	7 (-) [4]	33 (2) [13]	6 (1) [5]	31 (2) [19]			
合格者数	41 (6) [18]	7 (-) [4]	31 (2) [12]	5 (1) [4]	27 (1) [19]			
B 入学者数	40 (6) [18]	7 (-) [4]	28 (2) [10]	5 (1) [4]	26 (1) [19]			
入学定員超過率 B/A	1.34		0.94 0.80		0.74			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 18 ] ( - ) 40	[ 4 ] ( - ) 7	[ 10 ] ( - ) 28	[ 4 ] ( - ) 5	[ 19 ] ( - ) 26	[ ] ( )			
2年次	/		[ 17 ] ( - ) 39	[ 4 ] ( - ) 6	[ 9 ] ( - ) 27	[ 4 ] ( - ) 5			
3年次	/		/		[ 16 ] ( - ) 37	[ 4 ] ( - ) 6			
計	[ 22 ] ( - ) 47		[ 3035 ] ( - ) 7378		[ 52 ] ( - ) 101				

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	47 40 人	4 2 0 人	平成26年度	2 人	1 人	就職(1人)、家庭の事情(1人)	4.3 8.5 %
			平成27年度	2 人	1 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、 家庭の事情(1人)	
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	33 28 人	1 0 人	平成27年度	1 人	1 人	就職(1人)	3.0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	26 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
合 計	75106 人	25 人					2.7 4.7 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻 博士後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	博士総合演習 I	1・2前	2			32 29	35 31 30	2 0 5			兼3	講師2名補充、准教授3名教授昇任(28) 科目充実のため教員1名追加。講師5名・准教授1名昇任、准教授1名退職、教授1名死去(27)
	博士総合演習 II	1・2後	2			32 29	35 31 30	2 0 5			兼3	講師2名補充、准教授3名教授昇任(28) 科目充実のため教員1名追加。講師5名・准教授1名昇任、准教授1名退職、教授1名死去(27)
	博士演習 I	1・2前		2		32 29	35 31 30	2 0 5			兼3	講師2名補充、准教授3名教授昇任(28) 科目充実のため教員1名追加。講師5名・准教授1名昇任、准教授1名退職、教授1名死去(27)
	博士演習 II	1・2後		2		32 29	35 31 30	2 0 5			兼3	講師2名補充、准教授3名教授昇任(28) 科目充実のため教員1名追加。講師5名・准教授1名昇任、准教授1名退職、教授1名死去(27)
	博士個別研究指導	1・2・3 通年	4			32 29	35 31 30	2 0 5			兼3	講師2名補充、准教授3名教授昇任(28) 科目充実のため教員1名追加。講師5名・准教授1名昇任、准教授1名退職、教授1名死去(27)
歴史学 拠点 コース	博士総合演習(歴史学拠点コース)I	1+2前		2		7	5	4				カリキュラム充実のため科目をA～Eに細分化(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース)II	1+2後		2		7	5	4				カリキュラム充実のため科目をA～Eに細分化(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) AI	1・2前		2		3	2	1				カリキュラム充実のため教員1名追加(28) カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) AII	1・2後		2		3	2	1				カリキュラム充実のため教員1名追加(28) カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) BI	1・2前		2			1					カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) BII	1・2後		2			1					カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) CI	1・2前		2		2						カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) CII	1・2後		2		2						カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) DI	1・2前		2			1					カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	博士総合演習(歴史学拠点コース) DII	1・2後		2			1					カリキュラム充実のため細分化開講(27)
博士総合演習(歴史学拠点コース) EI	1・2前		2		1	1 2					昇任のため(28) カリキュラム充実のため細分化開講(27)	
博士総合演習(歴史学拠点コース) EII	1・2後		2		1	1 2					昇任のため(28) カリキュラム充実のため細分化開講(27)	
国際 コース	Doctoral Integrated Seminar I	1・2前	2			11 10 8	22 21 14 13	1 0 5			兼3	科目充実のため教員2名追加。講師1名補充(28) 科目充実のため教員5名追加。講師5名昇任(27)
	Doctoral Integrated Seminar II	1・2後	2			11 10 8	22 21 14 13	1 0 5			兼3	科目充実のため教員2名追加。講師1名補充(28) 科目充実のため教員5名追加。講師5名昇任(27)
	Doctoral Seminar I	1・2前		2		11 10 8	22 21 14 13	1 0 5			兼3	科目充実のため教員2名追加。講師1名補充(28) 科目充実のため教員5名追加。講師5名昇任(27)
	Doctoral Seminar II	1・2後		2		11 10 8	22 21 14 13	1 0 5			兼3	科目充実のため教員1名追加。講師1名補充(28) 科目充実のため教員5名追加。講師5名昇任(27)
	Doctoral Dissertation Advising	1・2・3 通年	4			11 10 8	22 21 14 13	1 0 5			兼3	科目充実のため教員2名追加。講師1名補充(28) 科目充実のため教員5名追加。講師5名昇任(27)

国際コース (歴史学拠点)	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course)	1・2前		2		4	4	±			カリキュラム充実のため科目をAとDに細分化(27)
	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course)	1・2前		2		4	4	±			カリキュラム充実のため科目をAとDに細分化(27)
	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course) AI	1・2前		2		1	1				カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course) AII	1・2後		2		1	1				カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course) DI	1・2前		2			1				カリキュラム充実のため細分化開講(27)
	Doctoral Integrated Seminar(History Core-Division Course) DII	1・2後		2			1				カリキュラム充実のため細分化開講(27)
小計(24科目)				16	36		32	2			兼3
小計(14科目)				16	14		29	9			

- (注) ・ 設置計画の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「相当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	8	0	14	6	18	0	24	
				[ ]	[ 10 ]	[ ]	[ 10 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点
		〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )
		計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m <sup>2</sup>						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m <sup>2</sup>						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
人文科学府	年	人	年次人	人	修士(文学) 博士(文学)	倍		福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号	
人文基礎専攻							平成12年度		
修士課程	2	16		32		0.53			
博士後期課程	3	7		21		0.47			
歴史空間論専攻							同上		
修士課程	2	20		40		0.55			
博士後期課程	3	9		27		0.51			
言語・文学専攻							同上		
修士課程	2	20		40		0.77			
博士後期課程	3	9		27		0.88			
地球社会統合科学府					修士(学術) 修士(理学) 博士(学術) 博士(理学)		平成26年度	福岡県福岡市西区大字元岡744番地	
地球社会統合科学専攻									
修士課程	2	60		120		1.06			
博士後期課程	3	35		105		1.00			
比較社会文化学府					修士(比較社会文化) 修士(理学) 博士(比較社会文化) 博士(理学)		平成12年度	福岡県福岡市西区大字元岡744番地	平成26年度より学生募集停止
日本社会文化専攻									
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
国際社会文化専攻							平成12年度		
修士課程	2	-		-		-			
博士後期課程	3	-		-		-			
人間環境学府					修士(人間環境学) 修士(文学) 修士(教育学) 修士(心理学) 修士(工学) 博士(人間環境学) 博士(文学) 博士(教育学) 博士(心理学) 博士(工学) 臨床心理 修士(専門職)		平成12年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号	
都市共生デザイン専攻									
修士課程	2	20		40		1.02			
博士後期課程	3	5		15		0.60			
人間共生システム専攻							同上		
修士課程	2	11		22		0.76			
博士後期課程	3	9		27		1.14			
行動システム専攻							同上		
修士課程	2	17		34		0.64			
博士後期課程	3	10		30		0.66			
教育システム専攻							平成17年度		
修士課程	2	19		38		0.83			
博士後期課程	3	9		27		0.55			
空間システム専攻							平成12年度		
修士課程	2	28		56		1.40			
博士後期課程	3	7		21		0.47			
実践臨床心理学専攻							平成17年度		
専門職学位課程	2	30		60		0.91			
法学府					修士(法学) 博士(法学)		平成22年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号	
法制理論専攻									
修士課程	2	72		144		0.53			
博士後期課程	3	17		51		0.40			

法務学府 実務法学専攻 専門職学位課程	3	45	160	法務博士 (専門職)	0.68	平成16年度	福岡県福岡市東 区箱崎6丁目1 9番1号	
経済学府 経済工学専攻 修士課程 博士後期課程 経済システム専攻 修士課程 博士後期課程 産業マネジメント専攻 専門職学位課程	2 3 2 3 2	20 10 27 14 45	40 30 54 42 90	修士 (経済学) 博士 (経済学) 経営修士 (専門職) 修士 (経済学) 博士 (経済学) 修士 (経済学) 博士 (経済学)	1.12 0.43 1.07 0.49 1.07	平成12年度 平成15年度 同上	福岡県福岡市東 区箱崎6丁目1 9番1号	
理学府 物理学専攻 修士課程 博士後期課程 化学専攻 修士課程 博士後期課程 地球惑星科学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3 2 3 2 3	41 14 62 19 41 14	82 42 124 57 82 42	修士 (理学) 博士 (理学) 修士 (理学) 博士 (理学) 修士 (理学) 博士 (理学)	1.08 0.66 1.04 0.55 0.91 0.42	平成20年度 同上 平成12年度	福岡県福岡市西 区大字元岡7 4 4番地	
数理学府 数理学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	54 20	108 60	修士 (数理学) 修士 (技術数理学) 博士 (数理学) 博士 (機能数理学)	1.02 0.80	平成12年度	福岡県福岡市西 区大字元岡7 4 4番地	
システム生命科学府 システム生命科学専攻 博士課程	5	54	270	修士 (システム生命科 学) 修士 (理学) 修士 (工学) 修士 (情報科学) 博士 (システム生命科 学) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (情報科学)	1.49	平成15年度	福岡県福岡市西 区大字元岡7 4 4番地	
医学系学府 医学専攻 博士課程 医科学専攻 修士課程 保健学専攻 修士課程 博士後期課程 医療経営・管理学専攻 専門職学位課程	4 2 2 3 2	107 20 27 10 20	428 40 54 30 40	修士 (医科学) 修士 (看護学) 修士 (保健学) 博士 (医学) 博士 (看護学) 博士 (保健学) 医療経 営・管理 学修士 (専門職)	1.19 0.75 1.34 1.20 0.85	平成20年度 平成15年度 平成19年度 平成21年度 平成13年度	福岡県福岡市東 区馬出3丁目1 番1号	
歯学府 歯学専攻 博士課程	4	43	172	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	0.78	平成12年度	福岡県福岡市東 区馬出3丁目1 番1号	
薬学府 創薬科学専攻 修士課程 博士後期課程 臨床薬学専攻	2 3	55 12	110 36	修士 (創薬科学) 博士 (創薬科学) 博士 (臨床薬学)	0.84 1.74	平成22年度 平成24年度 平成24年度	福岡県福岡市東 区馬出3丁目1 番1号	※平成24年度度 より学生募集停 止(医療薬科学 専攻博士後期課 程)

博士課程 医療薬科学専攻	4	5	20		1.20			
博士後期課程	4	-	-		-	平成12年度		
工学府				修士 (工学) 博士 (工学)		平成12年度	福岡県福岡市西 区大字元岡74 4番地	
物質創造工学専攻								
修士課程	2	38	76		1.07			
博士後期課程	3	10	30		1.80			
物質プロセス工学専攻						同上		
修士課程	2	30	60		1.18			
博士後期課程	3	9	27		0.62			
材料物性工学専攻						同上		
修士課程	2	33	66		0.95			
博士後期課程	3	7	21		1.04			
化学システム工学専攻						同上		
修士課程	2	35	70		1.32			
博士後期課程	3	10	30		0.63			
建設システム工学専攻						同上		
修士課程	2	24	48		1.27			
博士後期課程	3	8	24		0.91			
都市環境システム工学専攻						同上		
修士課程	2	28	56		1.31			
博士後期課程	3	8	24		0.87			
海洋システム工学専攻						同上		
修士課程	2	21	42		1.49			
博士後期課程	3	8	24		0.41			
地球資源システム工学専攻						同上		
修士課程	2	20	40		2.10			
博士後期課程	3	8	24		1.20			
エネルギー-量子工学専攻						同上		
修士課程	2	28	56		1.19			
博士後期課程	3	12	36		0.55			
機械工学専攻						同上		
修士課程	2	62	124		1.32			
博士後期課程	3	19	57		0.41			
水素エネルギー-システム専攻						同上		
修士課程	2	30	60		1.36			
博士後期課程	3	9	27		1.55			
航空宇宙工学専攻						同上		
修士課程	2	30	60		1.29			
博士後期課程	3	12	36		0.55			
芸術工学府				修士 (芸術工学) 修士 (デザイン・デザイン)		平成15年度	福岡県福岡市南 区塩原4丁目9 番1号	平成16年4月学生 受入
芸術工学専攻				博士 (芸術工学) 博士 (工学)				
修士課程	2	92	184		0.91			
博士後期課程	3	25	75		0.66			
デザイン・デザイン-専攻								
修士課程	2	28	56		1.24	平成18年度		
博士後期課程	3	5	15		1.60	平成20年度		
システム情報科学府				修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学) 修士 (芸術)		平成21年度	福岡県福岡市西 区大字元岡74 4番地	
情報学専攻				博士 (情報科学)				
修士課程	2	40	80		1.01			
博士後期課程	3	14	42		0.47			
情報知能工学専攻				博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (芸術)		同上		
修士課程	2	45	90		1.13			
博士後期課程	3	15	45		0.88			
電気電子工学専攻				博士 (工学) 博士 (芸術)		同上		
修士課程	2	55	110		1.38			
博士後期課程	3	16	48		0.70			
総合理工学府				修士 (工学) 修士 (工学)		平成12年度	福岡県春日市春 日公園6丁目1 番地	
量子プロセス理工学専攻								

修士課程	2	37		74	修士 (学術)	1.74		
博士後期課程	3	14		42	博士 (理学)	1.18		
物質理工学専攻					博士 (工学)	同上		
修士課程	2	37		74	博士 (学術)	1.40		
博士後期課程	3	14		42		0.49		
先端IT科学-理工学専攻						同上		
修士課程	2	34		68		1.20		
博士後期課程	3	12		36		0.33		
環境IT科学-工学専攻						同上		
修士課程	2	26		52		1.20		
博士後期課程	3	9		27		0.44		
大気海洋環境システム学専攻						同上		
修士課程	2	30		60		1.14		
博士後期課程	3	11		33		0.45		
生物資源環境科学府					修士 (農学)		平成22年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号
資源生物科学専攻					博士 (農学)			
修士課程	2	50		100		0.95		
博士後期課程	3	19		57		0.69		
環境農学専攻						同上		
修士課程	2	75		150		0.74		
博士後期課程	3	27		81		0.47		
農業資源経済学専攻						同上		
修士課程	2	13		26		0.92		
博士後期課程	3	5		15		1.00		
生命機能科学専攻						同上		
修士課程	2	106		212		0.85		
博士後期課程	3	12		36		0.47		
生物産業創成専攻						同上		
博士後期課程	3	14		42		0.71		
統合新領域学府					修士 (感性学)			福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号
ユーザ-感性学専攻					修士 (芸術工学)			
修士課程	2	30		60	修士 (工学)	1.05	平成21年度	
博士後期課程	3	4		12	修士 (オートモーティブサイエンス)	0.58	平成23年度	
オートモーティブサイエンス専攻					修士 (ライヴリ-サイエンス)		平成21年度	
修士課程	2	21		42	修士 (学術)	0.97		
博士後期課程	3	7		21	博士 (感性学)	0.66		
ライヴリ-サイエンス専攻					博士 (芸術工学)			
修士課程	2	10		20	博士 (工学)	0.55	平成23年度	
博士後期課程	3	3		9	博士 (オートモーティブサイエンス)	0.88	平成25年度	
					博士 (ライヴリ-サイエンス)			
					博士 (学術)			

大学の名称	九州大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地
文学部	年	人	年次 人	人	学士 (文学)	倍		福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号
人文学科	4	160		640	学士 (学術)	1.04	平成12年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号
教育学部	4	50		200	学士 (教育学)	1.10	昭和24年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号
					学士 (学術)			

法学部		4	200		800	学士 (法学) 学士 (学術)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号
経済学部									
経済・経営学科		4	150	3年次 10	620	学士 (経済学) 学士 (学術)	1.04	平成12年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19番1号
経済工学科		4	90	3年次 10	380		1.06	昭和52年度	
理学部									
物理学科		4	59		236	学士 (理学) 学士 (学術)	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市西区大字元岡74番地
化学科		4	67		268		1.04	同上	
地球惑星科学科		4	48		192		1.03	平成2年度	
数学科		4	54	3年次 5	226		1.05	昭和24年度	
生物学科		4	49		196		1.08	同上	
医学部									
医学科		6	111		666	学士 (医学) 学士 (生命科学)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号
生命科学科		4	12		48	学士 (看護学)	1.08	平成19年度	
保健学科		4	137		548	学士 (保健学) 学士 (学術)	1.02	平成14年度	
歯学部						学士 (歯学)			
歯学科		6	53		318		1.00	昭和42年度	福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号
薬学部									
創薬科学科		4	50		200	学士 (創薬科学) 学士 (薬学)	1.02	平成18年度	福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号
臨床薬学科		6	30		180	学士 (学術)	1.01	同上	
工学部									
建築学科		4	60		240	学士 (工学) 学士 (学術)	1.08	昭和29年度	福岡県福岡市西区大字元岡74番地
電気情報工学科		4	158		632		1.07	平成8年度	
物質科学工学科		4	168		672		1.07	平成9年度	
地球環境工学科		4	150		600		1.06	平成10年度	
IT・IT-科学科		4	99		396		1.07	同上	
機械航空工学科		4	169		676		1.09	平成11年度	
芸術工学部									
環境設計学科		4	38		152	学士 (芸術工学) 学士 (学術)	1.05	平成15年度	福岡県福岡市南区塩原4丁目9番1号
工業設計学科		4	48		192		1.07	同上	
画像設計学科		4	38		152		1.06	同上	
音響設計学科		4	38		152		1.04	同上	
芸術情報設計学科		4	40		160		1.04	同上	
農学部									
生物資源環境学科		4	229		916	学士 (農学) 学士 (学術)	1.06	平成10年度	福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成27年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成27年4月	国際経済学特論	平成27年3月 〇〇〇〇教授就任辞退のため 担当者の変更(27)  平成27年7月 AC教員審査済(28)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成27年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成27年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成27年10月	■■■■論						……………のため、就任が遅延(28)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成27年4月	◎◎◎論			後任未定			平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成28年4月	〇〇〇〇論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
29	30	5	0	64	32	32	2	0	66	32	32	2	0	66
(29)	(30)	(5)	(0)	(64)						[ +3 ]	[ +2 ]	[ Δ3 ]	[ ]	[ +2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
64	0	0			66	0	0			66	0	0		
(64)	(0)	(0)								[ +2 ]	[ ]	[ ]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<地球社会統合科学府 地球社会統合科学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照）  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況（教員の参加状況含む）  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成28年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成28年 6月 1日 )</p>
--